

前回の quiz の解答

1. 微分方程式

$$\frac{d^2x}{dt^2}(t) + \omega^2 x(t) = 0 \quad (1)$$

の解は, $x(t) = C_1 \cos(\omega t) + C_2 \sin(\omega t)$ で, いまは, $\omega^2 = 8$ の場合である. よって解は, C_1, C_2 を積分定数として,

$$x(t) = C_1 \cos(2\sqrt{2}t) + C_2 \sin(2\sqrt{2}t) \quad (2)$$

このとき,

$$\frac{dx}{dt}(t) = 2\sqrt{2}(-C_1 \sin(2\sqrt{2}t) + C_2 \cos(2\sqrt{2}t)). \quad (3)$$

初期条件より,

$$\begin{aligned} 1 &= x(0) = C_1 \cos(2\sqrt{2} \cdot 0) + C_2 \sin(2\sqrt{2} \cdot 0) = C_1, \\ -1 &= \frac{dx}{dt}(0) = 2\sqrt{2} \cdot (-C_1 \sin(2\sqrt{2} \cdot 0) + C_2 \cos(2\sqrt{2} \cdot 0)) = 2\sqrt{2}C_2. \end{aligned}$$

よって、初期条件を満たす解は、

$$x(t) = \cos(2\sqrt{2}t) - \frac{1}{2\sqrt{2}} \sin(2\sqrt{2}t) \quad (4)$$

これで十分な答えになっているが、次の形にも変形できる。

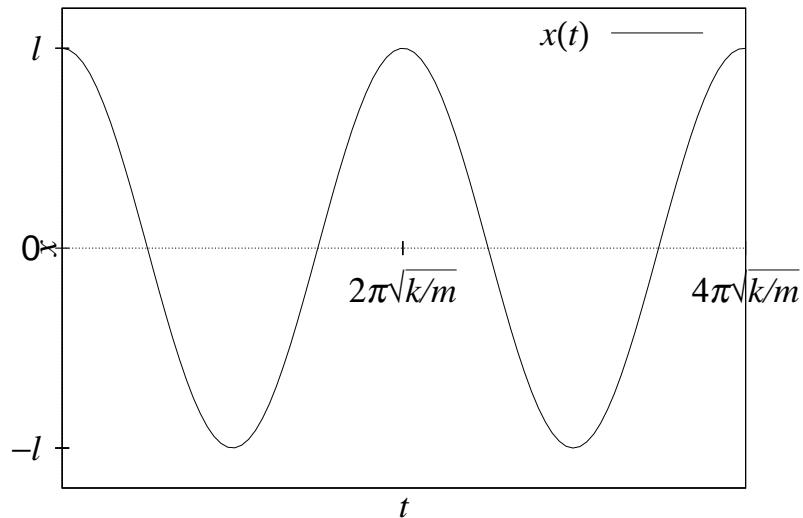
$$x(t) = \sqrt{\frac{9}{8}} \sin(2\sqrt{2}t + \theta_0), \quad \theta_0 = \arctan(-2\sqrt{2}). \quad (5)$$

2. 自然長からの変位を $x(t)$ とすると, 運動方程式は

$$m \frac{d^2 x}{dt^2}(t) = -kx(t). \quad (6)$$

初期条件は, $x(t) = \ell, \frac{dx}{dt}(0) = 0$. この解は, 上と同様に,

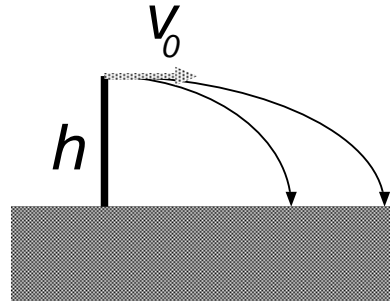
$$x(t) = \ell \cos(\sqrt{k/m} \cdot t). \quad (7)$$



問題

次のうち、人間がいちばん遠くまで投げられるのは?(大きさは同じ)

- 5kg 砲丸
- ソフトボール
- 発泡スチロールの玉



高校物理的解答

高さ h のところから、横方向に 速度 v_0 で投げるとする.

地表に落下するまでの時間 t は、落下運動の公式から、

$$h = \frac{1}{2}gt^2 \text{ より } t = \sqrt{2h/g}. \quad (8)$$

横方向には、等速直線運動なので、この間に、 $v_0 \times \sqrt{2h/g}$ だけ進む。よって、どれも同じ距離だけ飛ぶ。

うそ.

人間の腕の構造上, $v_0(\text{砲丸}) < v_0(\text{ソフトボール})$

だからソフトボールのほうが飛ぶ.

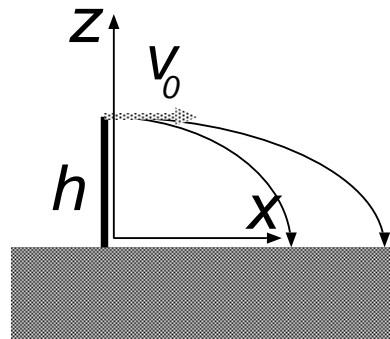
では発泡スチロールの玉は? $v_0(\text{発泡スチロール}) = v_0(\text{ソフトボール})$

速度 \vec{v} に比例する空気抵抗 $-k\vec{v}$ がはたらくとすると, 運動方程式は

$$(ma = F)$$

$$m \frac{d^2 x}{dt^2}(t) = -k \frac{dx}{dt}(t), \quad (9)$$

$$m \frac{d^2 z}{dt^2}(t) = -k \frac{dz}{dt}(t) - mg \quad (10)$$



初期条件は, $x(0) = 0, z(0) = h, \frac{dx}{dt}(0) = v_0, \frac{dz}{dt}(0) = 0.$

重要 比例定数 k は, 同じ の物体なら同じ.

にはよらない.

(9) を解こう. $v(t) = \frac{dx}{dt}(t)$ とおくと,

$$\frac{dv}{dt}(t) = -\frac{k}{m}v(t)$$

(× 間違い $\int \frac{dv}{dt} dt = -\int \frac{k}{m} v dv$)

$$\boxed{\quad} \quad \frac{1}{v} dv = -\frac{k}{m} dt \quad \boxed{\quad}$$

$$\int \frac{1}{v} dv = -\int \frac{k}{m} dt + C \quad (C \text{ は積分定数})$$

$$\log |v(t)| = -\frac{k}{m}t + C$$

$$|v(t)| = e^{-\frac{k}{m}t+C} = e^{-\frac{k}{m}t} e^C$$

$$v(t) = \pm e^C e^{-\frac{k}{m}t} = C_1 e^{-\frac{k}{m}t}.$$

初期条件 $v(0) = v_0$ より, $C_1 = v_0$. もう一度積分して,

$$x(t) = \int v(t) dt = \int v_0 e^{-\frac{k}{m}t} dt = -\frac{mv_0}{k} e^{-\frac{k}{m}t} + C_2 \quad (11)$$

初期条件 $x(0) = 0$ より, $C_2 = +\frac{mv_0}{k}$.

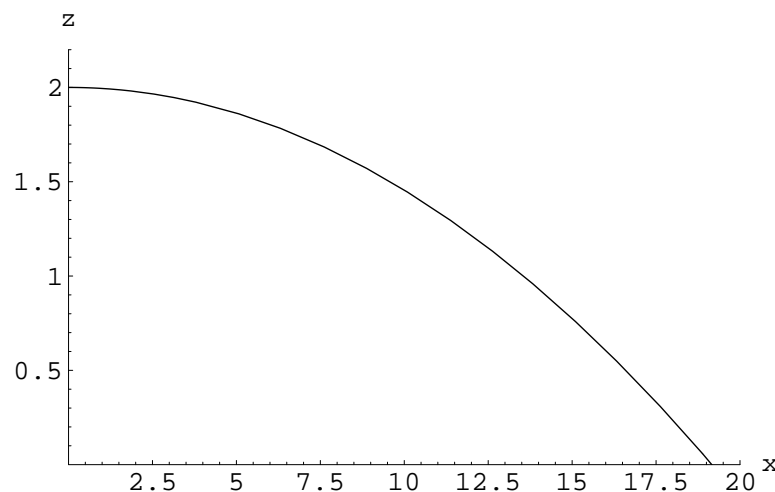
$$x(t) = \frac{mv_0}{k} (1 - e^{-\frac{k}{m}t}) \quad (12)$$

空気抵抗が無い場合とは, 少し違う考え方をしよう. h が十分大きければ (東京タワーの上から投げた!), 着地する時刻 t は非常に大きいはず.

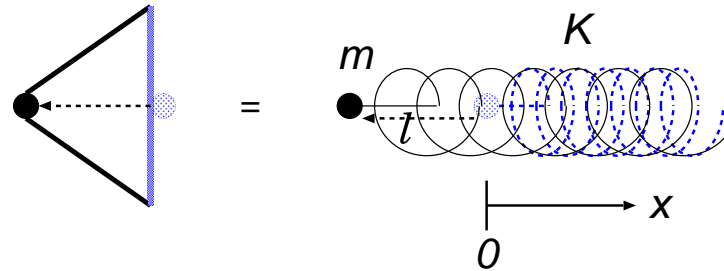
そこで, $t \rightarrow \infty$ を考えよう. $e^{-\frac{k}{m}t} \rightarrow 0$ より,

$$x(t) \rightarrow \boxed{} \quad (13)$$

確かに, m が大きい方が遠くまで届く.



人間の手は不確か。パチンコで打ち出してみよう。
 バネ定数を K , ℓ だけ引き絞ってそっと
 手を放したとする。運動方程式は



初期条件

$$m \frac{d^2 x}{dt^2}(t) = -Kx(t). \quad (14)$$

$x(0) = -\ell, \frac{dx}{dt}(0) = 0$. 先週やったように解くと,

$$x(t) = C_1 \cos\left(\sqrt{\frac{K}{m}} \cdot t\right) + C_2 \sin\left(\sqrt{\frac{K}{m}} \cdot t\right) \rightarrow x(t) = -\ell \cos\left(\sqrt{\frac{K}{m}} \cdot t\right).$$

$x(T) = 0$ となった瞬間に, ボールはパチンコを離れ, 力を受けなくなる.

$$\text{その時刻は } \sqrt{\frac{K}{m}} T = \pi/2 \rightsquigarrow T = \frac{\pi}{2} \sqrt{\frac{m}{K}}.$$

$$\text{その瞬間の速度 } v_0 = \frac{dx}{dt}(T) = \ell \sqrt{\frac{K}{m}} \sin\left(\frac{\pi}{2}\right) = \ell \sqrt{\frac{K}{m}}.$$

飛ぶ距離